

OpenChain Japan Work Group

Tooling Sub-Group

第14回ミーティング

OpenChain Japan WG / Tooling SG
2020/11/24

Antitrust Policy Notice

- Linux Foundation meetings involve participation by industry competitors, and it is the intention of the Linux Foundation to conduct all of its activities in accordance with applicable antitrust and competition laws. It is therefore extremely important that attendees adhere to meeting agendas, and be aware of, and not participate in, any activities that are prohibited under applicable US state, federal or foreign antitrust and competition laws.
- Examples of types of actions that are prohibited at Linux Foundation meetings and in connection with Linux Foundation activities are described in the Linux Foundation Antitrust Policy available at <http://www.linuxfoundation.org/antitrust-policy>. If you have questions about these matters, please contact your company counsel, or if you are a member of the Linux Foundation, feel free to contact Andrew Updegrove of the firm of Gesmer Updegrove LLP, which provides legal counsel to the Linux Foundation.

【参考】

独占禁止法順守ポリシー (Antitrust Policy)

- Linux Foundation (以下LFと略す) の会議は、産業界で競合関係にある企業同士の参加が不可欠です。LFは、すべての活動を、適用されるべきすべての独占禁止法/競争法に則って運営します。従って、会議の出席者は、アジェンダに沿って会議を進め、国内外の独占禁止法/競争法の下で禁止されているいかなる活動にも参加しないよう、注意を払うことが非常に重要です。
- LFの会議において、またLFの活動に関連して、禁止されている行動の例は、<https://www.linuxfoundation.jp/antitrust-policy/> から入手できるLF独占禁止法順守ポリシーに記載されています。これらの事項について質問がある場合は、あなたの会社の法律顧問に問い合わせるか、もしあなたがLFのメンバーであるならば、LFの法律顧問である Gesmer Updegrove LLP の Andrew Updegrove にお問い合わせください。

Tooling SG の目的

**OSS管理運用のためのOSS(ツール)を利用して、
Open Source Compliance において次を実現する**

- 1. 組織に応じたワークフローの構築**
- 2. 省力化 (オートメーション)**
- 3. 質の向上 (ツール、ワークフロー、コンプライアンスについて)**

Tooling SG の活動内容

日本語中心でOK

1. ツールの情報をまとめる / 発信する

(Globalコミュニティと連携)

2. 実際に使いながら勉強や議論する場の提供

(ツール紹介、セミナーやハンズオンの開催など)

3. 情報流通とツールのマッピング

(ワークフロー実現のために課題を洗い出し、他と連携して改善)

4. 活動に賛同するメンバ拡大のためのプロモーション

(OpenChain以外の会合での発表、Githubやその他メディアの活用)



今回のアジェンダ

- | | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 16:00 - 16:05 | 開会 & お知らせ <ul style="list-style-type: none">- Open Compliance Summit 2020, 12/1- Open Source Summit 2020 Japan, 12/2-4 |
| 2 | 発表・報告 | とくになし |
| 3 | 16:05 - 16:55 | 相談事項：日本語以外での発表について <ul style="list-style-type: none">- 通訳を前提として、日本語以外での発表をアリにしてよいか その他 <ul style="list-style-type: none">- 今後の取組について |
| 4 | 16:55 | 閉会 |

議事メモ (要旨)

Q:【相談】日本語以外での発表してもらいたい。その場合、通訳を前提とすれば実施してよいかどうか (TSGリーダー)

→ (メモ : TSGリーダー) 当日の議論では賛成多数でした。そのため、メーリングリストとSlackにて周知します。

その他関連意見 :

- 通訳については、発表者が手配して貰えるとよいが、都度調整でもよさそう。
- 発表者には質問は日本語になる場合がある、ということを理解して貰えばよいのではないかな。

Q: 今後のTSGでやるとよさそうな話題について

→ (メモ : TSGリーダー) 次は当日参加者から出た案である (参加者13人、賛成につき過半数超☆、ほぼ半々★)

☆ツールの棚卸、みたいな 2020年版

Reference Tooling WGの big picture とツール毎1枚紹介資料の日本版をつくる ⇒ もたいさん、ちょっとやってみる。Slackで議論

☆SW360 v12ハンズオン

定例会の枠よりも、きちんと時間をとってもよい。Chore (コンテナ)版が候補になりそうか ⇒ はまさんに相談してみる (TGSリーダー)

☆関連コミュニティのニュース

案外と要望があったので、TSGリーダーが検討する

★SPDX対応状況や、SPDXについて。

SPDXを業務で使う機会が増えてきた。SPDXが何なのか理解したい ⇒ 11/25 追記 : License-Info SG に出張講義をしてもらえないか相談中 (TGSリーダー)

↓ライセンススキャナー の仕組みを読んでもみる (カジュアル会ネタ?)

とくに意見がなかったため、いったん、取り下げ

次回以降の案内

カジュアル：毎月第2火曜日 16:00 – 17:00 オンライン

(次回：2020年12月8日。次々回：2021年1月12日。)

月例会：毎月第4火曜日 16:00 – 17:00 オンライン

(次回：2020年12月22日)

(接続手段はメーリングリストとSlackを確認のこと)

気軽に参加、気楽に発表、をお願いします！